




## 燃費測定モードについて

平成 23 年 4 月より、「乗用自動車の性能の向上に関する製造事業者等の判断の基準等」及び「貨物自動車の性能の向上に関する製造事業者等の判断の基準等」が改正され、自動車のカタログ等における燃費値の表示方法が一部変更されます。

### ● 燃費の表示

2011 年4 月以降に型式指定を受ける自動車に対し、「JC08 モード燃費値(国土交通省審査値)」をカタログ等へ表示することを義務付けます。現在既に販売されている自動車(継続生産車)についても、2013 年2 月末までに、JC08 モード燃費値を表示することを義務付けます。したがって、2013 年3 月以降は、全ての自動車のカタログにJC08 モード燃費値が表示されることになります。

### ● 10・15 モードから JC08 モードへの移行スケジュール

現在、全ての自動車のカタログに 10・15 モード燃費が記載されています。	自動車のカタログに 10・15 モード燃費と JC08 モード燃費が順次併記されていきます。	全ての自動車のカタログに JC08 モード燃費が表示されます。
2007 年 7 月 ~	2011 年 4 月 ~	2013 年 3 月 ~
		

### ● JC08 モードと 10・15 モード

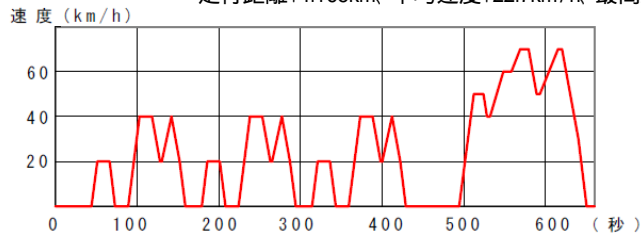
自動車の燃費値は、気象条件や渋滞等の使用環境や、急発進、エアコン使用等の運転方法に応じて異なるため、車種間で燃費値を比較するためには、一定の測定方法が必要です。そのため、国土交通省では、1991 年に燃費測定方法として10・15(じゅうじゅうご)モードを定めました。

10・15 モードは、策定当時のユーザーの自動車使用環境をもとに走行パターンを定めており、現在まで使用されています。しかし、ユーザーの使用環境の変化や測定技術の進歩を踏まえ、より実際の走行に近づけるため、2011 年4 月より、新たな測定方法としてJC08(ジェイシーゼロハチ)モードを導入しました。

JC08 モードでは、実際の走行と同様に細かい速度変化で運転するとともに、エンジンが暖まった状態だけでなく、冷えた状態からスタートする測定が加わりました。既に一部の自動車は、JC08 モードで測定した燃費値の審査を受けて、JC08 モード燃費値をカタログ等で表示しています。

車両によって異なりますが、一般的にJC08 モード燃費の方が10・15 モード燃費より概ね1 割ほど低くなる傾向があります。

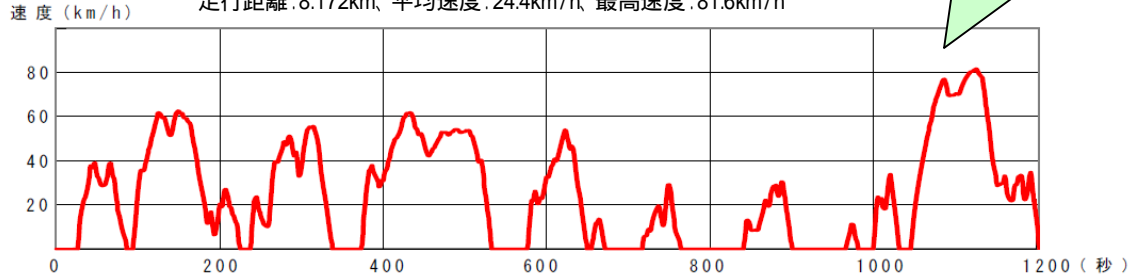
10・15モード 走行距離:4.165km、平均速度:22.7km/h、最高速度:70.0km/h



<JC08 モード走行の特徴>

実際の走行と同時に、細かい速度変化で運転します。  
エンジンを暖まった状態だけでなく、冷えた状態から  
スタートする測定が加わります。

JC08モード 走行距離:8.172km、平均速度:24.4km/h、最高速度:81.6km/h



10・15 モード走行及び JC08 モード走行

● 国土交通省審査値とは？

燃費値の審査は、自動車の型式指定審査時に行われます。型式指定審査において、規定どおり測定された燃費値であることが認められた燃費値が、「国土交通省審査値」として自動車のカタログ等に記載されています。

【カタログ表示例】 トヨタ プリウス

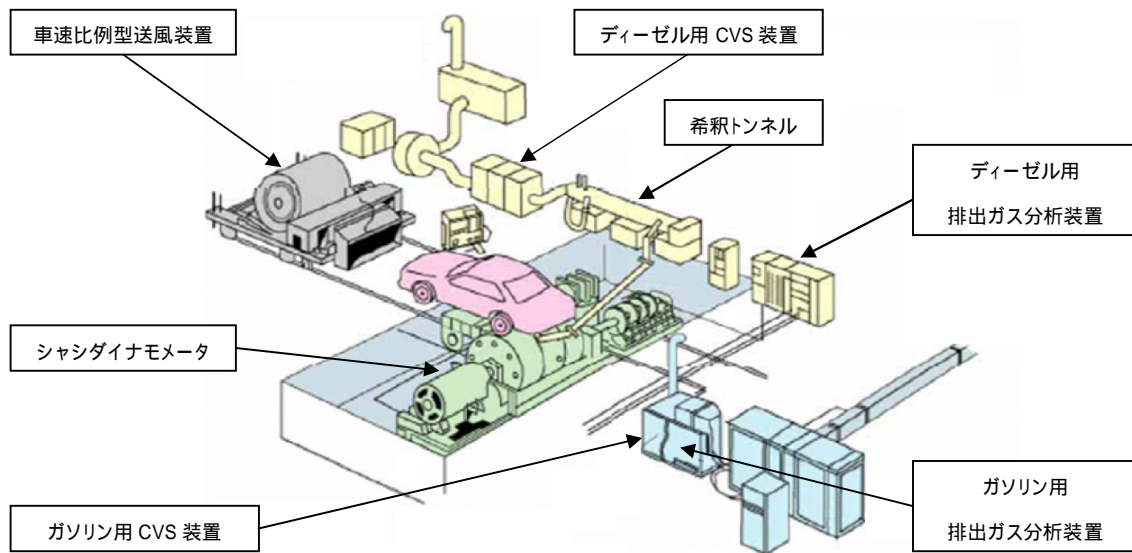
燃料消費率	JC08モード Km/ (国土交通省審査値)	26.2
	10・15モード Km/ (国土交通省審査値)	31.0

【カタログ表示例】 ダイハツ ミライース(2WD)

燃料消費率	JC08モード Km/ (国土交通省審査値)	30.0
	10・15モード Km/ (国土交通省審査値)	32.0

● 燃費の測定方法

自動車の燃費値は、国土交通省の定めた方式(10・15モード及びJC08モード)で、審査機関(独立行政法人交通安全環境研究所)において測定しています。市街地や郊外での走行を想定した一定のパターンで走らせ、燃料の消費量から、1リットル当たりの走行距離、つまり燃費を算出します。ただし、実際に車を走らせるわけではなく、試験場のシャシダイナモメータ(測定器のローラー)に車を載せ、車両重量毎に負荷重量を変化させた上で、その場でタイヤを回転させて、燃費を測定しています。



シャシダイナモメータによる燃費測定方法

出典:国土交通省「自動車の燃費測定モードについて」より